

令和5年度 自殺対策取組状況

実施評価の目安	記号	効果評価の目安	記号
当初の予定通り実施できた（実施割合が80%以上）	◎	予定した以上の効果があった	◎
おおむね実施できた（実施割合が60%以上80%未満）	○	おおむね予定した効果であった	○
実施は不十分だった（実施割合が60%未満）	△	効果は予定したほどなかった	△
実施できなかった	×	効果がなかった	×

基本施策

基本施策1 地域におけるネットワークの強化

計画における項目	実施内容	担当課	令和5年度 実施状況	実施状況に対する評価	令和5実施評価	令和5効果評価
定期的な「自殺対策連絡会議」の開催	定期的な「自殺対策連絡会議」の開催	健康づくり課	7月6日に開催し、令和4年度実績報告、令和5年度計画、これまでの取り組み内容や今後の課題等について報告しました。	計画どおり実施し、令和6年度からの新たな計画策定に向け、今後の課題等を共有できました。	◎	○
定期的な「自殺対策担当者連絡会議」の開催	定期的な「自殺対策担当者連絡会議」の開催	健康づくり課	次期計画策定に向け、5月・10月・1月と関係部署及び関係機関が集まり、情報や課題の教諭を行いました。	次期計画に向けた課題の共有及び、計画内世の検討ができました。	◎	◎
行政等と企業との心の健康づくりに関しての連携	出前行政講座実施	健康づくり課	市内企業へ、メンタルヘルス等に関する相談窓口一覧等の資料提供を行いました。7月に新規採用職員等21人にゲートキーパー研修を実施しました。11月に市内企業アンケート調査にて、企業におけるメンタルヘルス対策や出前講座実施希望有無の調査をしました。	令和5年度はゲートキーパー研修実施希望はありませんでしたが、市内企業アンケート調査でゲートキーパー研修実施受入可否を調査できました。今後、説明を行う等して研修実施等を調整していきます。	△	△
行政等と地区組織との連携	出前行政講座実施	健康づくり課	出前行政講座等で2回延べ54人にゲートキーパー研修を実施しました。	2回の実施ができましたが、企業や自治会など多くの方にももっとゲートキーパー研修をしてもらい利用してもらえるような工夫が必要です。	○	○

基本施策2 自殺対策を支える人材の育成

計画における項目	実施内容	担当課	令和5年度 実施状況	実施状況に対する評価	令和5実施評価	令和5効果評価
市民に対するゲートキーパー養成講座の実施	ゲートキーパー出前行政講座実施	健康づくり課	出前行政講座を2回延べ54人に実施しました。	昨年度と同等回数の開催でした。もっと多くの方に事業実施を知っていただく必要があります。	○	○
企業や団体に出向いてのゲートキーパー養成講座の実施	ゲートキーパー出前行政講座実施	健康づくり課	市新規採用職員18人に対し実施しました。	壮年期世代の自殺対策は必須です。企業等への働きかけがさらに必要です。	△	△
県が実施するゲートキーパー養成講座の周知	県が実施するゲートキーパー養成講座の周知	健康づくり課	県から一般市民向け講座の案内はありませんでした。専門職研修には職員が参加しました。	市での開催機会は限られているので開催される際には活用していきます。	×	×

基本施策3 市民への啓発と周知

計画における項目	実施内容	担当課	令和5年度 実施状況	実施状況に対する評価	令和5実施評価	令和5効果評価
自殺予防週間に啓発のための街頭キャンペーンの実施	自殺予防週間に街頭キャンペーンの実施	健康づくり課	9月12日(100人)、13日(150人)に自殺予防週間に合わせた街頭キャンペーンを実施し、啓発チラシやグッズを配布しました。	街頭キャンペーン実施により、市民へ直接啓発活動を行うことができました。	◎	◎
広く市民を対象とした講演会の開催	こころの健康づくり講演会の実施	健康づくり課	9月10日(日)にこころの健康づくり講演会「質の良い睡眠とは」を開催し、33人が参加しました。	講演内容は参加者から好評でしたが、一般市民参加が10人と少ないため参加募集に工夫が必要です。	◎	○
自殺予防について広報誌等へ掲載	自殺予防週間に合わせた市の広報誌へ掲載	健康づくり課	自殺予防週間に合わせ、広報菊川(8月号)に啓発記事を掲載、9月に公式SNSアカウントでの啓発内容の発信を行いました。	広報きくがわと合わせ、SNSを利用することで若年層にも情報が届きやすくなるため、今後もインターネットやSNSでの啓発を続けます。	◎	○

令和5年度 自殺対策取組状況

実施評価の目安	記号
当初の予定通り実施できた（実施割合が80％以上）	◎
おおむね実施できた（実施割合が60％以上80％未満）	○
実施は不十分だった（実施割合が60％未満）	△
実施できなかった	×

効果評価の目安	記号
予定した以上の効果があった	◎
おおむね予定した効果であった	○
効果は予定したほどなかった	△
効果がなかった	×

基本施策4 生きることへの促進要因への支援

計画における項目	実施内容	担当課	令和5年度 実施状況	実施状況に対する評価	令和5実施評価	令和5効果評価
高齢者の居場所づくり活動	地域の助け合い、居場所の創出	長寿介護課	生活支援体制整備事業や介護予防事業において、居場所や地域活動の場等の創出及び活動支援を行いました。また、生活支援コーディネーターと連携し、居場所の把握に努めました。	居場所の創出については時間を要するため、引続き介護予防事業の実施や生活支援コーディネーター等と連携を図り、地域に居場所が増えるよう努めています。	◎	◎
	高齢者向け教室の開催	社会教育課	3会場で、それぞれ5回実施しました。	高齢者の居場所づくりとして、教室を通じ人とのつながりや交流の場の提供ができました。	○	○
障がい者の居場所づくり活動	障がい者の居場所づくり	福祉課	日中の居場所として利用したり、お楽しみ会、サロン等定期的に利用される方がいました。	一定の参加者がおり、日中の居場所や、交流の場として機能していたと考えられます。	◎	◎
自死遺族への支援情報提供	ポスターやパンフレットでの情報提供	福祉課	プラザけやきや地区センター等へポスターやパンフレットを設置したりSNSを活用し情報発信を行いました。	多くの方が利用する施設に設置したりSNSを活用したりすることで幅広い方に周知していただけるように工夫しました。	◎	◎
	すみれ相談等の広報誌への掲載 パンフレットの配布	健康づくり課	相談窓口一覧や広報菊川(8月号)に記載して情報提供しました。	書面、SNS、インターネット等様々な啓発媒体を活用した情報提供をしていく必要があります。	◎	○

基本施策5 児童生徒のSOSの出し方に関する教育

計画における項目	実施内容	担当課	令和5年度 実施状況	実施状況に対する評価	令和5実施評価	令和5効果評価
スクールカウンセラーによる相談の実施	カウンセリング	学校教育課	県任用のSCを各中学校区に週1回程度配置し、児童生徒、その保護者を対象にした定期的なカウンセリングを実施しました。	SCの定期訪問について、児童生徒やその保護者への認知が広がっており、効果的な活用に繋がっています。	◎	◎
各校のいじめ防止基本方針の点検と見直し	校内いじめの防止対策会議	学校教育課	市内校長会(第1, 3, 4回)において、いじめ問題を取り上げ、いじめの定義やいじめの積極的な認知、いじめ問題への組織的な対応手順等についての説明を行いました。	菊川市では、いじめの認知件数が増加しており、積極的な認知が進んでいます。一方で、学校間の認知件数の差があることが明らかとなり、いじめの定義を改めて浸透させる必要があります。	◎	◎
不登校児童・生徒への支援の充実	校内生徒指導連絡会	学校教育課	市内小中学校において、定期的に生徒指導連絡会が行われており、SCやSSWも積極的に参加するなど体制が整っています。生徒指導連絡会の中で、ケース会議等も実施され、早期対応がなされています。	不登校への対応は、学校復帰を目指すことだけが目的ではなく、それぞれの児童生徒に合った居場所につなげることの必要性が問われています。菊川市においても官民が連携した居場所づくりの取組が一層必要です。	◎	◎
個別支援の実施	相談室(各中学校)適応指導教室	学校教育課	教育支援センターこのゆびと～まれに常時2人の相談員を配置し、学校以外の児童生徒の居場所として運営をしました。 各中学校には心の教室相談員1人を配置し、校内相談室の運営を行い、教室に足が向かない生徒の居場所として個別支援を実施しました。	現在、教育支援センターは菊川市中央公民館内に設置しており、旧小笠町地区の児童生徒が中心に活用しています。旧菊川町の地区にも同様の機能を持った教育支援センターを設置することで、より多くの児童生徒とその保護者への支援につながると考えられます。	◎	◎

令和5年度 自殺対策取組状況

実施評価の目安	記号	効果評価の目安	記号
当初の予定通り実施できた（実施割合が80％以上）	◎	予定した以上の効果があった	◎
おおむね実施できた（実施割合が60％以上80％未満）	○	おおむね予定した効果であった	○
実施は不十分だった（実施割合が60％未満）	△	効果は予定したほどなかった	△
実施できなかった	×	効果がなかった	×

重点施策

重点施策1 勤務・経営に関することへのアプローチ

計画における項目	実施内容	担当課	令和5年度 実施状況	実施状況に対する評価	令和5実施評価	令和5効果評価
企業と連携し、ゲートキーパー研修を開催	ゲートキーパー出前講座の実施	健康づくり課	市新規採用職員18人に対し実施しました。	壮年期世代の自殺対策は必須です。企業等への働きかけがさらに必要です。	△	△
市の開催するメンタルヘルス研修の参加を企業に呼びかけ	市の開催するメンタルヘルス研修の参加を企業に呼びかけ	健康づくり課	献血協力企業へのあいさつ時に講演会チラシ等を配布しました。ゲートキーパー研修実施希望はありませんでした。	令和5年度の利用希望はありませんでしたが、ゲートキーパー研修についての情報提供を具体的に続けていきます。	○	×

重点施策2 高齢者支援に関することへのアプローチ

計画における項目	実施内容	担当課	令和5年度 実施状況	実施状況に対する評価	令和5実施評価	令和5効果評価
高齢者への総合相談事業の実施	高齢者への総合相談事業の実施	長寿介護課	広報や出前行政講座などであかつち窓口のPRを行いました。総合相談件数はけやき窓口が3,594件、あかつち窓口が1,634件でした。	あかつち窓口の周知を行い、けやき窓口とも連携し、支援を必要とする人が相談につながるよう努めました。	○	○
地域ケア会議の開催	地域ケア会議の開催	長寿介護課	地域ケア推進委員会を3回、地域ケア実務検討会等を3回実施しました。その他個別地域ケア会議を18回開催しました。	今後も個々の検討課題から地域の課題を探り、各機関の協力で解決していくため、開催していきます。	◎	◎
認知症サポーター養成講座の実施	認知症サポーター養成講座の実施	長寿介護課	市民向け講座として年3回の他に、出前行政講座等にて7回実施しました。また、認知症サポーターステップアップ講座を1回実施しました。チームオレンジ立ち上げに向けてキックオフミーティングを3回開催し、立ち上げました。	養成講座を10回実施し、延べ189人が参加されました。サポーター延べ人数が4,712人になりました。今後も講座を実施し、サポーター数を増やしていきます。	◎	◎
認知症カフェの実施	認知症カフェの実施	長寿介護課	菊川地域1法人、小笠地域1法人に委託をし、菊川地域8回、小笠地域12回開催しました。	新型コロナが落ち着き、昨年より大幅に開催数を増やすことができました。	◎	◎
認知症サポーターキャラバンメイト連絡会の実施	認知症サポーターキャラバンメイト連絡会の実施	長寿介護課	年3回連絡会を実施しました。	今後もキャラバンメイトの意向や状況に合わせて連絡会等を開催します。	◎	◎
高齢者見守りネットワーク事業の実施	高齢者見守りネットワーク事業の実施	長寿介護課	地域の事業所・団体を306箇所見守り事業所として登録し、高齢者の見守りを依頼しました。	事業所からの通報により、高齢者の安否確認や、支援につながった事例がありました。	◎	◎
介護者のつどいの開催	介護者のつどいの開催	長寿介護課	令和5年度は、正しい介護知識の普及として誤嚥性肺炎予防のための食事介護法や介護ストレス軽減方法として心を鎮めるコツ等について講義を実施。計3回開催した。	今後も介護に必要な知識の習得や介護者のリフレッシュのため開催します。	◎	◎

重点施策3 生活困窮者支援に関することへのアプローチ

計画における項目	実施内容	担当課	令和5年度 実施状況	実施状況に対する評価	令和5実施評価	令和5効果評価
生活困窮者自立相談支援事業の実施	生活困窮者自立相談支援事業の実施	福祉課	菊川市社会福祉協議会へ自立相談支援事業及び家計相談支援事業を委託し、19人の新規相談を受け付けました。	生活困窮者への相談として相談者に寄り添いながらの支援が行えました。	◎	◎
生活困窮者住居確保給付金事業の実施	生活困窮者住居確保給付金事業の実施	福祉課	就労支援と併せ住居確保給付金を扶助(3世帯11か月分)しました。	住居確保給付金利用者の内、1人が就労実現できました。	○	○

令和5年度 自殺対策取組状況

実施評価の目安	記号	効果評価の目安	記号
当初の予定通り実施できた（実施割合が80％以上）	◎	予定した以上の効果があった	◎
おおむね実施できた（実施割合が60％以上80％未満）	○	おおむね予定した効果であった	○
実施は不十分だった（実施割合が60％未満）	△	効果は予定したほどなかった	△
実施できなかった	×	効果がなかった	×

生きる支援関連施策

(1) 市民一人ひとりの気づきと見守り

計画における項目	実施内容	担当課	令和5年度 実施状況	実施状況に対する評価	令和5実施評価	令和5効果評価
啓発広報の実施	市広報紙へ記事の掲載	健康づくり課	相談窓口一覧や広報菊川(8月号)に記載して情報提供しました。	書面、SNS、インターネット等様々な啓発媒体を活用した情報提供をしていく必要があります。	◎	○
	街頭キャンペーン	健康づくり課	9月12日(100人)、13日(150人)に自殺予防週間に合わせた街頭キャンペーンを実施し、啓発チラシやグッズを配布しました。	街頭キャンペーン実施により、市民へ直接啓発活動を行うことができました。	◎	◎
	出前行政講座や地域サロンにおいての普及啓発	長寿介護課	出前行政講座24回、地域サロンへの専門職派遣を19回行い、知識の普及に努めました。	集団に対する啓発となるため、多くの市民に同じ内容で伝えることが出来るため、今後も継続していきます。	◎	◎
講演会の開催	こころの健康づくり講演会の開催	健康づくり課	9月10日(日)にこころの健康づくり講演会「質の良い睡眠とは」を開催し、33人が参加しました。	講演内容は参加者から好評でしたが、一般市民参加が10人と少ないため参加募集に工夫が必要です。	◎	○
	こころの健康づくり講演会の開催	福祉課	市民を対象とした講演会を12月9日(土)に内田地区センターにて実施しました。	令和5年度も対面での講演会を実施することが出来ました。また、SNSを活用し様々な年代の方に情報発信を行いました。	◎	◎

(2) 自殺対策にかかる人材の確保、養成及び資質の向上を図る

計画における項目	実施内容	担当課	令和5年度 実施状況	実施状況に対する評価	令和5実施評価	令和5効果評価
ゲートキーパー研修の実施	ゲートキーパー出前行政講座の実施	健康づくり課	出前行政講座等で2回延べ54人にゲートキーパー研修を実施しました。	2回の実施ができましたが、企業や自治会など多くの方にももっとゲートキーパー研修をしてもらい利用してもらえるような工夫が必要です。	○	○
精神保健福祉ボランティア支援	フォローアップ講座の実施	Mネット	12月9日(土)に、社会福祉法人Mネット東遠八木光春氏による「障がいがあってもなくても自分らしく生活できる菊川市を目指して」をテーマにした公演を実施。35人が参加した。	講演を通じて精神疾患や精神障害を持つ人について考える機会になった。質問も活発に挙がった。	◎	◎
	活動場所の提供	Mネット	ひやくえん食堂を毎月開催しました。(3月・8月はおたのしみ会の実施) 毎回利用者約10人以上が、調理参加もしくはお弁当受け取りにて参加しました。地域活動センターで企画する外出や創作等のプログラムへのボランティア活動もありました。	お弁当の受け渡しも含めると毎回定員上限の参加者があります。活動を通じて、ボランティアのやりがいや相互の交流にも繋がっています。	◎	○
	定例会の開催	Mネット	毎月の定例会および年1回の総会(5月)を実施した。	予定通り開催した。	◎	○
事後検証会の実施	事後検証会の実施	消防署	令和5年度は自損事案が15件発生しており、各班で事後検証を実施しています。	事案検証を実施していますが、救急隊による精神的ケアは難しいと思います。	◎	○

令和5年度 自殺対策取組状況

実施評価の目安	記号
当初の予定通り実施できた（実施割合が80％以上）	◎
おおむね実施できた（実施割合が60％以上80％未満）	○
実施は不十分だった（実施割合が60％未満）	△
実施できなかった	×

効果評価の目安	記号
予定した以上の効果があった	◎
おおむね予定した効果であった	○
効果は予定したほどなかった	△
効果がなかった	×

(3)適切な精神保健医療福祉サービスを受けられるようにする

計画における項目	実施内容	担当課	令和5年度 実施状況	実施状況に対する評価	令和5実施評価	令和5効果評価
きくがわこころの健康相談	きくがわこころの健康相談の実施	福祉課	希望や依頼に応じて当人や家族等から悩みや生活上の支援の相談を受け付けました。	相談を受け、必要があれば関係機関との連携や支援会議をして、継続した支援をしました。	◎	◎
		Mネット	令和5年度新規相談者数は23人。(障害福祉サービスの利用希望相談も含む)うちこころの健康相談は1件でした。(12月末現在)	行政等関係機関とも連携しながら必要な福祉サービスにつなげるなどの対応を行いました。	◎	○
障がい者相談	障がい者相談員による相談	福祉課	障害者相談員による相談指導や訪問活動が実施されました。	相談員は当事者や家族等の方であり、福祉課や相談支援事業所とは異なる立場の人へ相談することが出来ています。	◎	◎
精神障がい者の早期発見・早期治療・社会復帰促進	支援会議の実施	福祉課	関係機関や当人、家族との支援会議への出席や電話等で情報共有を行い、包括的、継続的に関わりを持ちました。	病院、地域の事業所等、精神保健医療福祉分野だけでなく、包括支援センター等とも連携しました。	◎	◎
	成人健康相談・電話相談の受付	健康づくり課	精神疾患、精神疾患疑いの人の電話相談は、延べ275回(実人数2人)。窓口相談は延べ44回(実人数5人)でした。電話は1人が270回以上利用しています。	対象者への相談対応と共に、必要なサービスや医療へのつなぎ等他部署や機関との連携をしながらの支援を行うことが必要です。	○	○
自助グループ支援	関係機関との連携	福祉課	新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、自助グループの例会が定期的に開催されました。情報を共有し、連携をはかりました。	毎月の例会について情報をいただきました。例会への参加は行えなかったですが必要な方への情報提供を行うことが出来ました。	◎	◎
精神障がい者家族会	講演会・交流会の実施	福祉課	会員向けに研修会と交流会を各1回ずつ実施しました。障害者週間等で啓発活動を行いました。	予定どおり、研修や交流会、啓発活動を行いました。会員の高齢化が課題となってきています。	◎	◎

(4)社会全体の自殺リスクを低下させる

計画における項目	実施内容	担当課	令和5年度 実施状況	実施状況に対する評価	令和5実施評価	令和5効果評価
民生・児童委員による見守り	民生・児童委員による見守り	福祉課	5月から9月にかけて民生委員・児童委員により高齢者世帯訪問を実施しました。見守りが必要な方については適宜訪問し、生活状況の把握に努めています。	見守りの結果や、個人、周囲からの相談をもとに関係機関に相談するなど、生活環境改善のために活動できています。	◎	◎
障がい者差別・虐待防止の推進	啓発	福祉課	市の催しなどの機会を用いてチラシの配布を行いました。また、関係機関と事例や今後の対応方法を確認・共有しました。	令和5年度は産業祭などの催しにて、市民への啓発活動を実施することができました。	◎	◎
		警察署	各相談に対し、適切に対応するとともに、関係機関との連携を図りました。	適切な対応及び連携を図ることができました。	◎	◎

令和5年度 自殺対策取組状況

実施評価の目安	記号	効果評価の目安	記号
当初の予定通り実施できた（実施割合が80％以上）	◎	予定した以上の効果があった	◎
おおむね実施できた（実施割合が60％以上80％未満）	○	おおむね予定した効果であった	○
実施は不十分だった（実施割合が60％未満）	△	効果は予定したほどなかった	△
実施できなかった	×	効果がなかった	×

(4)社会全体の自殺リスクを低下させる

計画における項目	実施内容	担当課	令和5年度 実施状況	実施状況に対する評価	令和5実施評価	令和5効果評価
ひきこもり支援	ひきこもり相談	社会福祉協議会	平日8:15～17:00まで随時ひきこもり相談対応を行いました。 また、第1・4木曜日と第2・第3火曜日（一部曜日変更有）には、発達障がいやひきこもり等に対する居場所を開催しました。 その他、市内施設等と連携していく中で、ボランティアや中間的就労等の支援を行いました。 家族への支援として、月1回家族交流会又は学習会を開催しました。	ひきこもり相談においては、随時対応しました。 当事者の居場所については、プログラムを計画して開催しました。 市内施設等と月1回会議を開催し、ひきこもり状況にある世帯について情報共有を行いました。 家族交流会においては、家族同士がお互いの悩みを共有することができました。 また、学習会を開催し、当事者家族や関係者がひきこもりについての理解を深めました。	◎	○
	成人健康相談・電話相談の受付	健康づくり課	ひきこもりの相談は小学生に関するものが1件ありました。	健康づくり課への相談数は少ないですが、必要な社会資源につなぐなどの対応を行います。	○	○
	窓口・電話相談	福祉課	窓口や電話での相談を受け、情報提供や関係機関との連携を行いました。	窓口や電話での相談を受け、情報提供や関係機関との連携を行いました。	◎	◎
	地域活動支援センター	Mネット	土日祝以外の平日9:00～16:00まで開所。令和5年度は12月末現在で5人の新規登録者があり、延べ人数1,548人が利用しました。	地域の障害のある方々の居場所となっています。	◎	○
高齢者総合相談の実施	高齢者総合相談	長寿介護課	高齢者本人やその家族から、生活や介護に関する相談を受け付けました。	あかつち窓口の周知を継続して行い、2つの窓口が連携し、支援を必要とする人が相談につながるよう努めました。	◎	◎
介護者への支援	介護者のつどい	長寿介護課	令和5年度は、正しい介護知識の普及として誤嚥性肺炎予防のための食事介護法や介護ストレス軽減方法として心を鎮めるコツ等について講義を実施	今後も介護に必要な知識の習得や介護者のリフレッシュのため開催します。	◎	◎
地域の見守り体制整備	高齢者見守りネットワーク事業	長寿介護課	地域の事業所・団体を306箇所見守り事業所として登録し、高齢者の見守りを依頼しました。	事業所からの通報により、高齢者の安否確認や、支援につながった事例がありました。	◎	◎
	地域ケア会議	長寿介護課	地域ケア推進委員会を年3回開催しました。	今後も個々の検討課題から地域の課題を探り、各機関の協力で解決していくため、開催していきます。	◎	◎
	地域ケア実務検討会	長寿介護課	地域ケア実務検討会、介護予防検討会を各3回実施し、随時開催の個別地域ケア会議を18回実施しました。	今後も個々の検討課題から地域の課題を探り、各機関の協力で解決していくため、開催していきます。	◎	◎
認知症対策の推進	認知症サポーター養成講座	長寿介護課	市民向け講座として年3回の他に、出前行政講座等にて7回実施しました。 また、認知症サポーターステップアップ講座を1回実施しました。チームオレンジ立ち上げに向けてキックオフミーティングを3回開催し、立ち上げました。	養成講座を10回実施し、延べ189人が参加されました。サポーター延べ人数が4,712人になりました。 今後も講座を実施し、サポーター数を増やしていきます。	◎	◎
	キャラバンメイト連絡会	長寿介護課	年3回の連絡会を実施しました。	今後も、連絡会でキャラバンメイトの資質が向上するよう働きかけます。	◎	◎
	認知症カフェ	長寿介護課	菊川地域1法人、小笠地域1法人に委託をし、菊川地域8回、小笠地域12回開催しました。	新型コロナが落ち着き、昨年より大幅に開催数を増やすことができました。	◎	◎

令和5年度 自殺対策取組状況

実施評価の目安	記号
当初の予定通り実施できた（実施割合が80％以上）	◎
おおむね実施できた（実施割合が60％以上80％未満）	○
実施は不十分だった（実施割合が60％未満）	△
実施できなかった	×

効果評価の目安	記号
予定した以上の効果があった	◎
おおむね予定した効果であった	○
効果は予定したほどなかった	△
効果がなかった	×

(4)社会全体の自殺リスクを低下させる

計画における項目	実施内容	担当課	令和5年度 実施状況	実施状況に対する評価	令和5実施評価	令和5効果評価
元気な高齢者向け講座の実施	シニア健康体操教室	社会教育課	計画どおり、9月から11月にかけて3会場、各5回実施した。	総人数延べ181人の参加者があり、高齢者でも楽しめるレクレーションスポーツや健康増進・体力向上のための運動を体験していただきました。	○	○
	ことぶき講座	社会教育課	計画どおり、6月から10月にかけて各5回実施しました。	定員30人に対し、28人の参加がありました。28人中、女性が24人と男性の参加者が著しく少ない結果となりました。	○	○
母子保健事業の実施	乳幼児相談	子育て応援課	6か月児相談や1歳児お誕生日相談で育児や親子遊びについて集団健康教育を実施しました。	健康相談等に来所する保護者の不安に寄り添いながら、その軽減に努めることができました。	◎	○
	健診	子育て応援課	各幼児健診において、子育てに関する情報提供をし、育児不安の解消に努めました。	健診時の問診票や個別の相談で、保護者の不安や困りごとを聞き取り、不安軽減に努めることができました。また、1回の対象者を減らし、相談時間を長く設けました。	◎	○
	療育教室	子育て応援課	療育教室実施時、毎回保護者と児の成長を一緒に確認し、保護者の悩みや不安等の相談に随時対応しました。	保護者から、多岐にわたる相談があり、随時対応することで不安の軽減に努めました。	◎	○
産後うつ対策の実施	産婦健診	子育て応援課	産婦健康診査時のアンケートから、早期に産後うつを発見に努めました。また伴走型相談支援において、妊娠8か月にアンケート及び面談を行い、妊娠期からの支援を行いました。	医療機関と連携し、妊娠期から出産・産後の支援に努めました。医療機関との連携により、支援が必要な産婦に対し、早期に対応することができました。伴走型相談支援においては、妊娠期からの支援を行い、産後うつの予防に努めました。	◎	○
	赤ちゃん訪問	子育て応援課	妊娠期から支援しているケースや産婦健康診査等の医療機関から連絡のあったケースについては、子育て世代包括支援センターの職員が早期に訪問し、産後うつ等の発見の予防につとめました。	早期の介入により、医療機関へつなげることができました。また、定期的な訪問等の支援を行うことで経過観察をすることができました。	◎	○
母子福祉事業の実施	家庭児童相談	子育て応援課	家庭における子育てに関する不安や悩みを聴取し、解決に向けて支援しました。	随時、適切な対応をしました。	◎	○
子育てサポートの実施	妊娠出産時ホームヘルプサービス	子育て応援課	4件の申請があり、5,800円の補助をしました。	母子健康手帳交付時やプレママ＆パパサロンで制度の周知をしました。また、制度についての事業提案をしました。	○	○
	就学に関する座談会	学校教育課	年中、年長児保護者向けに就学についての説明会を実施しました。保護者からの質問や相談にも対応しました。	就学までの流れや仕組みを伝えることで、保護者が見通しをもつことにつながりました。	◎	◎
	保護者同士の交流の場の提供 子育て相談	こども政策課	こども政策課窓口に園開放日程等を掲示したりチラシを配布しました。園は、年間計画に基づき、園開放や園見学を実施しました。	保護者同士で、子育てについての情報交換や職員に悩み等を相談する場となり、サポートできました。	◎	○

令和5年度 自殺対策取組状況

実施評価の目安	記号
当初の予定通り実施できた（実施割合が80％以上）	◎
おおむね実施できた（実施割合が60％以上80％未満）	○
実施は不十分だった（実施割合が60％未満）	△
実施できなかった	×

効果評価の目安	記号
予定した以上の効果があった	◎
おおむね予定した効果であった	○
効果は予定したほどなかった	△
効果がなかった	×

(4)社会全体の自殺リスクを低下させる

計画における項目	実施内容	担当課	令和5年度 実施状況	実施状況に対する評価	令和5実施評価	令和5効果評価
生活困窮者自立支援事業の実施	自立相談支援事業	社会福祉協議会	平日8:15～17:00まで随時、生活困窮相談を受け、本人の自立を目指すとともに、行政等の関係機関との連携を図りました。	44件の新規相談に対応しました。食べるものがなく困っている人については、フードバンク等の食糧支援を活用しました。	◎	○
	住居確保給付金	福祉課	就労支援と併せ住居確保給付金を扶助(延べ4世帯、12か月分)しました。	住居確保給付金利用者の内、2人が就労実現できました。	◎	◎
	家計相談支援事業	社会福祉協議会	自立相談支援事業と併せて、家計がうまくまわせない方について、家計支援を行い、自立に向けて支援しました。	3件の利用があり、家計改善に向けて定期的に面談を行いました。	◎	○
	法外援護	福祉課	やむを得ない需要に対して11件の支援を行いました。	通常の制度では支援できないやむを得ない需要に対し迅速な対応ができました。	○	○
	就労支援	福祉課	ハローワーク等と連携し、13人の就労支援を行いました。	6人が就労を実現できました。	○	○
心配ごと相談	心配ごと相談	社会福祉協議会	月4回相談日を開設し、助言や必要に応じて専門機関を紹介しました。	市民のあらゆる生活相談として22件対応しました。	○	○
福祉総合相談	福祉総合相談	社会福祉協議会	平日8:15～17:00まで随時、地域住民の日常生活における相談に応じました。	87件の相談に対応しました。どこの窓口で相談したらよいかわからないといった相談等に対応し、必要に応じて専門機関を紹介しました。	◎	○
DV相談	DV相談	福祉課	DV相談を15件受け付けました。	一時避難の利用はありませんでした。また、早期の課題解決とはなりませんが、相談により被害者のストレス軽減につながりました。	○	○
	DV相談	警察署	適切な相談対応及び関係機関との連携・協力をしました。	適切な対応及び連携・協力ができました。	◎	◎
重複多受診者訪問指導	重複受診者訪問	市民課	国保連からのデータを基に訪問対象者リストを作成し、健康づくり課に依頼しました。	抽出した対象者を漏れなく依頼できました。	◎	○
	多受診者訪問	市民課	国保連からのデータを基に訪問対象者リストを作成し、健康づくり課に依頼しました。	抽出した対象者を漏れなく依頼できました。	◎	○
	重複服薬者訪問	市民課	国保連からのデータを基に訪問対象者リストを作成し、健康づくり課に依頼しました。	抽出した対象者を漏れなく依頼できました。	◎	○

(5)遺された人への支援を充実

計画における項目	実施内容	担当課	令和5年度 実施状況	実施状況に対する評価	令和5実施評価	令和5効果評価
支援情報提供	パンフレット配布	警察署	親切的説明と資料の配布をしました。	適切に実施できました。	◎	◎
		健康づくり課	相談窓口一覧や広報菊川(8月号)に記載して情報提供しました。	書面、SNS、インターネット等様々な啓発媒体を活用した情報提供をしていく必要があります。	◎	○

令和5年度 自殺対策取組状況

実施評価の目安	記号
当初の予定通り実施できた（実施割合が80％以上）	◎
おおむね実施できた（実施割合が60％以上80％未満）	○
実施は不十分だった（実施割合が60％未満）	△
実施できなかった	×

効果評価の目安	記号
予定した以上の効果があった	◎
おおむね予定した効果であった	○
効果は予定したほどなかった	△
効果がなかった	×

(6)子ども・若者の自殺自殺対策を更に推進する

計画における項目	実施内容	担当課	令和5年度 実施状況	実施状況に対する評価	令和5実施評価	令和5効果評価
いじめ防止対策事業	菊川市生徒指導連絡協議会	学校教育課	菊川市いじめ問題対策連絡協議会と菊川市いじめ問題調査委員会を各1回開催をしました。それぞれの委員からは専門的な知見に基づく意見がだされ、市内校長会にて報告をしました。	本年度は、各1回の定例会を開催しました。次年度に向けては、定例会を2回開催し、年間の取組の報告を行うことで、次年度に向けた更なるいじめ防止対策につなげていきたいと考えています。	◎	◎
	リフレッシュ時保育事業 個別支援を通じ、早期発見、即時対応	こども政策課	親子の様子を関係機関に伝達しし、連携しながら具体的に支援できる方法を確認しました。	園と子育て応援課等と情報交換をし、状況を把握しやすくすることで、早急に対応できました。	◎	○
教育相談	相談面接	こども政策課	保護者からの相談依頼を受けて、面談を行いました。	面談を実施することによって、保護者の不安や悩み等相談しやすい状況となりました。	◎	○
	相談面接	学校教育課	小学生10人、中学生14人合計24人の教育相談に対応しました。	教育相談に対応したことで、教育支援センターへの通級に繋がった児童生徒や学校との連携により、児童生徒の困り感に対応できた事例がありました。	◎	◎